

核藻場礁として15年以上の実績のK-hatリーフβ型は アワビが棲み、産卵するのにも最適な環境

●アワビ産卵床としての活用事例

- 心地の良い隙間 = 礁内には、9つのコンクリートブロックと専用台座を配置。
アワビが棲むのに好む35~150mmの隙間空間を形成しています。
この隙間は、天敵のタコから身を隠すのにも役立ちます。
- エサとなる海藻 = 礁内にはアワビのエサとなる海藻が生い茂っています。
アワビが1年間棲むには2つがい程度の放流が良いようです。
- ネットによる保護 = ネットは藻食性魚類による海藻の食害防止に効果があります。



海藻が繁茂するK-hatリーフβ型



投入時のアワビの親貝



礁内で暮らすアワビの親貝



礁内で暮らすアワビの親貝

住友大阪セメントの アワビ産卵礁 K-hatリーフβ型の活用事例(1)

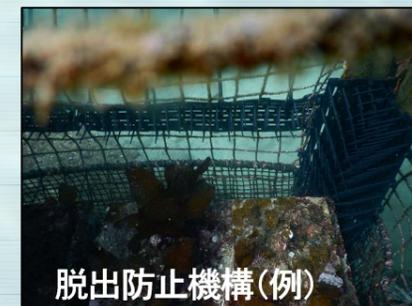


沈設されるK-hatリーフβ型(K-hatリーフβ型全景)

※実製品と仕様が一部異なります。

●アワビ産卵礁の特徴

- ・磯焼け海域でも、海藻付プレートとの交換により、親貝の餌を供給できる。
- ・ネット内に放流した親貝の成熟を確認済み。
- ・親貝が外に出ないための脱出防止機構設置。
- ・親貝の放卵放精により、周辺海域に次世代のアワビが多数放出される。



脱出防止機構(例)



住友大阪セメント株式会社

建材事業部 営業統括グループ

〒105-8641 東京都港区東新橋1-9-2

汐留住友ビル20階

TEL.03-6370-2721 FAX.03-6370-2758



株式会社SNC

製品事業部 海洋製品グループ

〒811-2202 福岡県粕屋郡志免町大字志免90

TEL.092-935-2764 FAX.092-935-4379

E-mai ocean@snc-inc.co.jp

住友大阪セメント海洋製品販売総代理店